

# 健 康 ライフ

(株)ファーマフーズ開発部 青笹 正義さん

機能性食品素材開発のファーマフーズ（京都市西京区）とエバーライフ（福岡市）は、卵黄から軟骨細胞を活性化させる働きを持つペプチド（ $\text{i-HA} \parallel \text{AIH}$ ）の開発に成功した。機能性素材として健康食品に配合する」として、高齢者らが悩む膝関節痛への効果が期待できるという。その機能などについて聞いた。

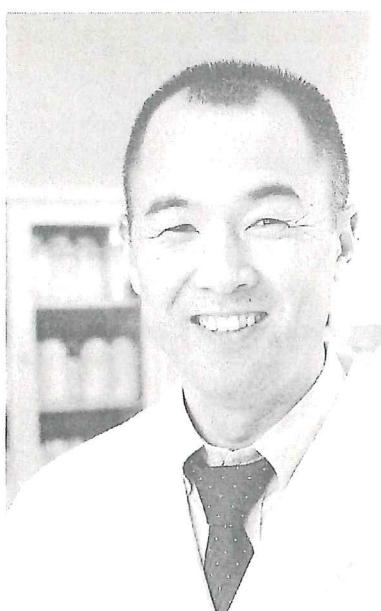
—.I H Aとは

本食品科学工学会第59回大会では、ウサギの膝の

# 膝関節痛に効果あるiH.A

かで、卵黄由来の成分に骨の成長促進効果があることに着目し、卵黄のタンパク質に特殊な分解処理を施して、ペプチド*i*-HAの精製に成功しました。さらに、*i*-HAを添加した軟骨細胞が増殖し、ヒアルロン酸の產生も促進させることも確認しました。

今年8月に行われた日



う仕組みを繰り返しますが、年をとるにつれ代謝が低下すると、ヒアルロン酸を生成する細胞の量が減少し、生成力が弱まつていきます。i H A にはそのヒアルロン酸の产生を促進させる効果があります。

今年の5月には、膝の痛みを自覚する40～70代の男女51人を対象に試験

ロン酸を生成する細胞を増殖させることにより、体内でのヒアルロン酸量を増やすことができま  
す。弊社ではすでに i-H.A. を配合した錠剤の健康食品を製品化しています。高齢化が進むなか、関節痛などに悩む方々の QOL（生活の質）の改善に寄与できればと思つて います。

関節軟骨に穴を開け、i H Aを3週間経口投与する試験で、投与しなかつた場合は空洞が残り、投与した場合は軟骨の穴が埋まつたという試験内容を発表しています。

——ヒトの体にはどのような効果が期待できるのか

正常な膝関節では、大いに軟骨と脛骨の表面を関節軟骨が覆い、クッションの役割をしていますが、加齢や肥満などによって関節軟骨がすり減ることにより、痛みを伴つ変形性膝関節症を発症します。軟骨の機能維持に必要なヒアルロン酸は、体内で生成され、それが活動により分解されるとい

を実施しました。i-HA を1日1回、200ミリグラムを摂取、50ミリグラムを摂取、摂取しないの3つのグループに分けて8週間試験したところ、i-HAを摂取したグループで、優位な改善効果が確認できました。

i HAは体内でヒアルロン酸を生成している軟骨細胞を増殖させることができました。ヒアルロン酸を生成する細胞を増殖させることにより、体内でのヒアルロン酸量を増やすことができました。弊社ではすでに i HAを配合した錠剤の健康食品を製品化しています。高齢化が進むなか、関節痛などに悩む方々のQOL（生活の質）の改善に寄与できればと思つて います。